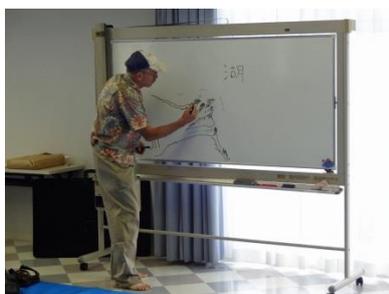


風景画家 ブライアン・ウィリアムズに学ぶ水辺の写生

2014年8月31日(日)、オーパル(大津市雄琴)にて開催されました。参加者は大人31名、子供30名、それにびわ湖トラストから6名でした。

午前の部は10時より会議室でブライアン先生(びわ湖トラスト理事)のお話でした。はじめは絵の対象のびわ湖について。まず「びわ湖はどのぐらい前に生まれた？」の質問。知っている人もおられましたが、非常に古い湖であることを知り驚きです。続いて自然環境の話。生物が少なくなっている現状や生物、特にヨシは水質浄化に重要な働きをしていることなど、心をこめた話に引き込まれていきました。

次は水彩画の話で、以前先生がここから描いた風景を示しながら、その描き方を実演されました。「私は下書きを描きません。まずたっぷりの水で背景を塗ります」との説明に「えー」との反応。筆をいれていきながらポイントポイントで美しく描くプロの技を伝授。一筆ごとに琵琶湖の美しい姿が浮かび上がり、魔法を見ているようでした。クシを使ってアクセントをつける部分、またヨシやヤナギを描くところでは、促されて子供達も参加しました。先生との合作、良い思い出となったことでしょう。





午後の部は外に出て思い思いの場所から水辺の写生です。ブライアン先生は書いているご家族の間をまわり、一組一組丁寧に指導されていました。この日は午後に天気が崩れるかもしれないという予報でしたが、幸いにも太陽がでて良い天気でした。しかし、かなり日差しが強く、暑いだけでなく絵具がすぐに乾いてしまうので教えるのに苦労されていたようです。そのような状況でしたので予定より終了時間を早め、会議室に戻っての絵の講評を頂きました。先生は一点一点その絵の良い所を指摘され、また、「ここを工夫するともっと良くなる」などのアドバイスもありました。このことに、「とてもよかった、うれしかった」と終了後のアンケートに書かれた方が多くおられました。





アンケートでは、「少々しんどかった」という子供さん(1名)を除いて回答いただいた全員から「楽しかった」、「また参加したい」との回答を得ました。また、「これからも絵を楽しみながら描きたい」という意見に加え、「びわ湖の自然の大切さがわかり、環境を守っていききたい」とのうれしい意見も寄せられました。

この取り組みは、西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部の助成により参加費無料で開催できました。また、今回、大津市教育委員会の後援、オーパルの協賛を頂きました。この場をおかりし、お礼申し上げます。

田中理事・藤田理事：写真撮影、中島（拓）理事：記